

今こそトレンド

スポーツチャンバラ が気軽で楽しいよ

本島茂さん(南大阪支部)

子どものころ、誰もが遊んだチャンバラごっこ。これがスポーツとしていま静かに広がっています。名前もズバリ「スポーツチャンバラ」
この普及と指導に一役買っているのが、本島 茂さん(南大阪支部・天王寺区役所分会)です。泉南市にある道場を訪ねてきました。



「子どもも楽しくやります」と館長の村岡一禎さん(仲おかかすよし)



泉南市、和泉砂川駅前にある有朋館道場(村岡一禎館長)。土曜日の夕方6時。近くの子どもや親子づれなど十人くらいが道場にきています。館長と本島

さんが指導しています。「スポーツチャンバラは、最近テレビや雑誌でも今風のチャンバラとして紹介されています。本来は、『小太刀護身道』とい

う武道です。関東方面ではもう十年以上前から始められていますが、大阪では、今の所この道場を含めて3ヶ所ぐらいだと思います。全国大会もあるんですよ。」と館長の村岡先生。

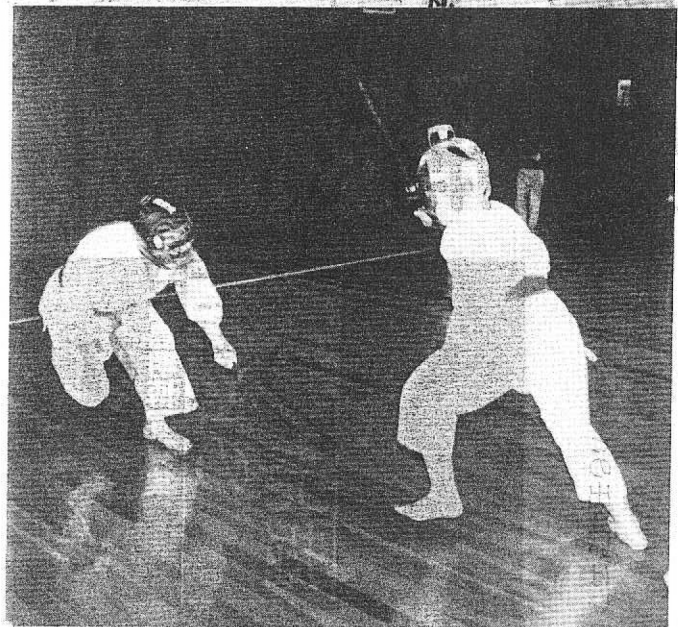
し、十月から始めました。「スポーツチャンバラの考え方は、日常生活で身の回りにおけるカサやカバン、週刊誌などを利用して身を守るという実用的、実践的な格闘技なんです。自由で誰でもどこでもできる健康的なものなんです」と本島さん。

ルールはどこと打っても良い。どこを打たれても負け。相討ちは双方負け。というかんたんなもの。「子どもがほんとに楽しくやっています。服装もスポーツウェアで十分できますよ」と、館長も。道場では、小学生の子供が楽しく賑やかに走り回

っています。防具はかんたんなマスク、太刀はプラスチックのパイプに発砲スチロールを巻いたもので、いくら打たれても安全で痛くありません。「剣道のようにたいそうでなく、本当に簡単に気軽にできるところがいいんです。気分もスカッとしますし、運動不足の解消にもなります。これから、職場や地域でグループや同好会みたいなものができたらいいなあと思っています。」とつげくわえてくれました。



「誰でもどこでもできますよ」と本島茂さん



本島さんは生野区役所に勤務していた頃に剣道をやり始め、現在三段の腕前。6年前に、有朋館ができてからこの道場に通っており、週2回はスポーツチャンバラもやっています。さあ、あなたもやりはじめませんか。